



確固たる企業品質の基、 『「ありたい姿」の実現に向けて』中長期ビジョン 『NICHIBAN GROUP 2030 VISION』を推進

代表取締役社長 高津敏明

第120期第2四半期(上半期)の業績について

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の5類移行を契機としたインバウンド需要の回復が進む一方、長期化するウクライナ情勢やエネルギー・原材料価格の高止まりによる物価上昇等、先行きは引き続き不透明であり、当社グループを取り巻く事業環境は予断を許さない状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループは世の中の変化を柔軟にとらえ、サステナブル社会に対応した経営環境、経営課題に積極的に取り組むため、2024年3月期を最終年度とする中期経営計画【ISHIZUE 2023 ～SHINKA・変革～】における重点テーマ「イノベーション創出」「グローバル展開・拡大」「事業推進体制の見直しと収益改革」「AI・IoT積極活用」「持続的成長を担う人財育成」を実行し、『NICHIBAN GROUP 2030 VISION』実現に向けて取り組んでまいりました。

① 中長期成長エンジンの確立、イノベーション創出

- ・ BtoC開発マーケティング・BtoB現場提案による新製品上市実現、新領域・新製品カテゴリーでの成果の創出
- ・ コア技術の深化・進化の成果創出と共有、オープンイノベーション・協業によるターゲット領域での新規事業の創出

② グローバル市場へのスピーディな展開・拡大

- ・ 販売3拠点体制による事業拡大と支援強化、生産・物流を含めた体制拡充の推進
- ・ 海外事業拡大に向けた戦略的パートナーの探索と協業の実現(業務提携・M&A活用)

③ 事業推進体制の見直しと収益改革

- ・ 顧客を機軸とした事業推進体制での戦略遂行、業務プロセス・業務活動における選択と集中の徹底と効率化の推進
- ・ 適切な需要予測管理と原価管理によるサプライチェーンマネジメントの最適化、業務プロセス改善と品質管理強化

- ・ サステナブル経営視点の事業戦略・開発の推進、CO₂排出削減等の取り組み強化

④ 事業戦略推進に向けたAI・IoTの積極活用

- ・ 事業戦略を実現するためのIT基幹システム活用の実践
- ・ 社内外データの活用とシステム化によるマーケティング施策と業務プロセス改善・効率化施策の推進

⑤ 将来の持続的成長を担う人財育成

- ・ 多様な人財の活用による組織運営の活性化と行動指針を実践する人財育成、社員の健康とエンゲージメント向上策の強化
- ・ リーダーシップ・組織マネジメント力及び専門スキルの強化(スキルマップの活用)
- ・ 次世代経営層の育成

以上の取り組みを実施いたしました結果、

売上高は、インバウンド需要回復によるヘルスケアフィールドの需要拡大等により、前年同期比4.3%増の224億5千8百万円となりました。

営業利益は、人員増に伴う人件費の増加、新基幹システム稼働に伴う減価償却費の増加やソフトウェア利用料の増加等による販売費及び一般管理費の増加等があったものの、売上高及び売上原価の増加等により、前年同期比4.9%増の5億2千9百万円となりました。

経常利益は、主に営業利益の増加により、前年同期比10.2%増の6億3千7百万円となりました。

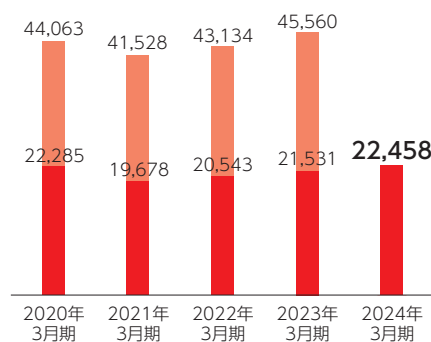
親会社株主に帰属する四半期純利益は、これらの影響により、前年同期比16.4%増の4億3千2百万円となりました。

株主の皆様におかれましては、当社グループの業績向上にご期待いただき、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

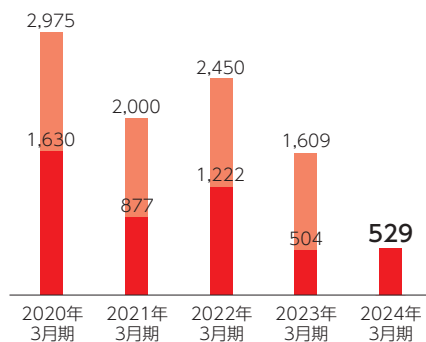
売上高 (百万円)

■ 通期 ■ 第2四半期



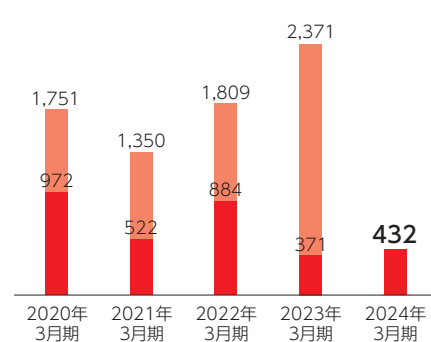
営業利益 (百万円)

■ 通期 ■ 第2四半期



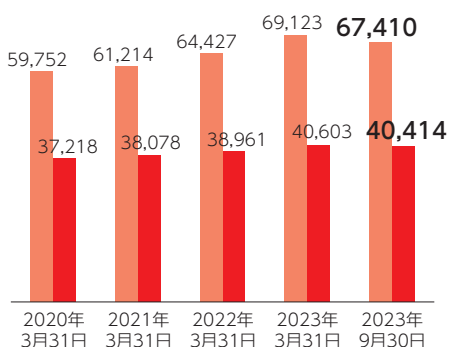
親会社株主に帰属する 四半期 (当期) 純利益 (百万円)

■ 通期 ■ 第2四半期

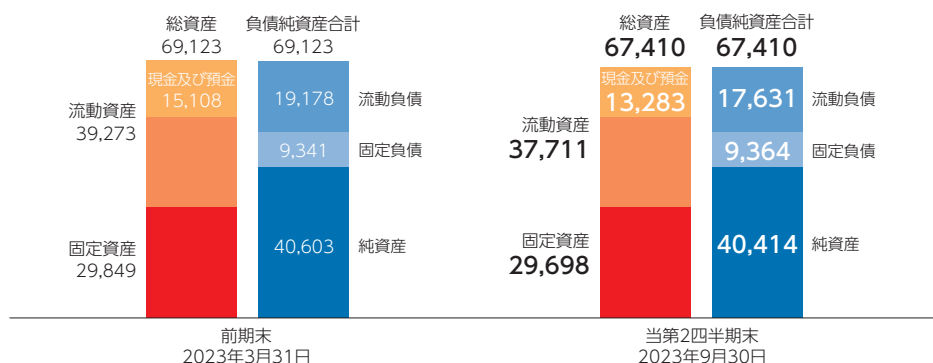


総資産及び純資産 (百万円)

■ 総資産 ■ 純資産



連結貸借対照表 (百万円)



財務に関する詳しい情報は当社ホームページ <https://www.nichiban.co.jp/corp/ir/finance/> をご覧ください。

TOPICS

海外の取り組み

中国 湖南省 マイクロサージャリー学会へ参加

6月30日から7月2日に開催された湖南省マイクロサージャリー学会に、現地代理店と共同で参加しました。ランチョンセミナーでは、ニチバンの会社紹介の他、現地医師によりCPSPの使用例と有用性について紹介していただき、第一線で活躍している医師に製品を直接アピールすることができました。



NICHIBAN (THAILAND) 孤児院への製品寄贈と スポーツイベントでのブランド啓蒙活動

9月、ノンタブリー県にある孤児院「Phaya Thai Babies Home」を訪問し、当社製品の寄贈・寄付を行うとともに、孤児の子供達と廊下のペイントを行う等交流を図りました。NICHIBAN (THAILAND) は設立6年を迎え、より一層タイの社会に根差した企業活動を図ってまいります。また6月と9月にトレイルランへ参加し、CARELEAVES™ やbattlewin™ の啓蒙活動を行いました。ニチバンブランドの認知及び売上拡大のため、引き続きイベントへの積極的な協賛出展を図ってまいります。



サステナビリティ

第14回 ニチバン巻心ECOプロジェクト 巻心受付期間：9月1日から12月27日まで

使用済み粘着テープの巻心を回収し、資源として再利用するエコ活動を2023年も継続しています。再利用の収益に、巻心の個数に応じてニチバンからの支援金を、環境NGO「イカオ・アコ」を通したフィリピンでのマングローブ植林・メンテナンスや、島根県江津市(ごうつし)を流れる江の川(ごうのかわ)流域での「森のしずく」保全活動等、国内外で緑を守る取り組みに役立てています。

統合報告書2023 <https://www.nichiban.co.jp/corp/sustainability/report/> ▶▶





はがれにくく、丈夫な素材が肌にフィットする 救急絆創膏「ガッチリバン™」新発売

ハードな作業や水仕事に適した、丈夫ではがれにくい救急絆創膏です。テープ素材は伸縮性に優れたパワーネットを採用し、ハードな作業時でも破れにくく、肌の動きにフィットします。また、粘着剤は強粘着ではがれにくく、汗や水蒸気を逃がしやすいので、長時間貼っていても快適に使用いただけます。



「アトファイン™」シリーズが 第4回「日本子育て支援大賞2023」を受賞

傷あとケアブランド「アトファイン™」シリーズの「アトファイン™ 傷あとケアテープ」及び「アトファイン™ クリーム」が、一般社団法人日本子育て支援協会が主催する第4回「日本子育て支援大賞2023」を受賞しました。今後も「アトファイン™」シリーズを通して、目立つ傷あとに悩む人の身体と心の負担を軽減し、生活の質の向上に貢献してまいります。



目立たず、衛生材料を肌にしっかり固定できる 「ニチバン 肌に貼れる両面テープ」新発売

不織布やガーゼ等の衛生材料を肌に固定する両面テープで、肌にやさしい医療用粘着剤を使用し、しっかり固定することができます。テープを衛生材料の肌にあたる面に貼るので、顔や腕等でも、テープが目立たず使用いただけます。



家事の強い味方「ディアキッチン™」シリーズで、 「作り置きにワザアリ！クイズキャンペーン」を実施

9月、キッチン周りでラベルや封止めに便利な「ディアキチ™ワザアリ™テープ」に関するクイズに答えて応募すると、ニチバン製品が抽選で100名様に当たる「作り置きにワザアリ！クイズキャンペーン」を実施しました。ブランドコンセプトである「キッチン周りのひと手間をなくすお手伝い」をモットーに、今後もキッチン作業のサポートを続けてまいります。



工業品



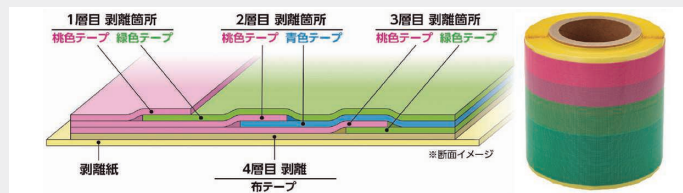
環境に配慮した食品容器包装用テープ 「フードパックテープ™長尺タイプ」新発売

天然素材を主原料とし環境に配慮された食品容器の簡易包装用テープです（バイオマスマーク70%取得）。当社従来品に比べ長さが2.5倍となる500m巻なので、食品工場における自動包装機のテープの交換頻度を約60%削減でき、SDGsへの取り組みと生産効率向上の両面に貢献します。



「せこたん™積層養生テープ」新発売

橋梁コンクリート床板の下面に強靱な連続繊維シートを格子状に接着して補強する工事で使う、4層に積層された養生テープです。同じ箇所を複数回マスキングするという非常に手間のかかっていた作業を短縮でき、作業者の負担軽減にもつながります。



医療材



医療現場での処置をサポートするウェアラブルディスプレイ 「ニチバン スマートグラス」新発売

各種機器と接続することにより、処置を行う手元と同一視線に映像を映し出す“視覚拡張”を実現した「ニチバン スマートグラス」。エコーガイド下穿刺や内視鏡による嚥下機能検査、作業マニュアルの閲覧等、医療現場でも今後の幅広い活用が期待されています。



会社概要

創業	1918 (大正7) 年1月
本社所在地	〒112-8663 東京都文京区関口二丁目3番3号
資本金	54.51億円
従業員数	780名

役員

代表取締役社長	高津 敏明
専務取締役	酒井 寛規
取締役常務執行役員	原 秀昭
取締役常務執行役員	高橋 泰彦
取締役	清水 與二
取締役	石原 達夫
取締役	佐藤 彰紘
取締役	真田 弘美
常勤監査役	高橋 一徳
常勤監査役	富岡 和彦
監査役	児玉 安司
監査役	福田 厚

株式状況

発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	20,738,006株
株主数	17,264名

大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
大鵬薬品工業株式会社	6,758	32.79
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,245	6.04
ニチバン取引先持株会	1,227	5.96
株式会社三菱UFJ銀行	1,000	4.85
株式会社みずほ銀行	1,000	4.85
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	459	2.23
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	379	1.84
株式会社りそな銀行	288	1.40
第一生命保険株式会社	277	1.35
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDP AIF CLIENTS NON TREATY ACCOUNT	268	1.30

(注) 持株比率は自己株式 (126,423株) を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の 配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿 管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 (https://www.nichiban.co.jp/) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

IRニュース メール配信のご案内

適時開示、決算報告等のIR情報や新製品等の最新情報を、電子メールでタイムリーにお知らせいたします。配信をご希望の方は、当社ホームページ「株主・投資家情報」の「IRニュース メール配信登録」よりご登録ください。



https://www.nichiban.co.jp/ir/ir_news/

	証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
お問合せ先	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324
お取扱店	未払配当金のみ、株式会社みずほ銀行 全国本支店でもお取扱いいたします。	
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」のお問合せ先までご連絡ください。	単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

株主優待制度

目的	内容	贈呈内容の例
株主の皆様のご支援に感謝するとともに、当社製品に対する一層のご理解とご愛顧をいただき当社株式への投資魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加促進を図ることを目的としております。	①対象となる株主様／毎年9月末の当社株主名簿に記載された株主様のうち、当社株式1単元(100株)以上保有かつ6カ月以上継続保有[※]の株主様を対象とさせていただきます。 ②贈呈内容／年1回、対象株主様お1人につき3,500円相当の当社新製品を中心とした「製品詰め合わせ」を贈呈いたします。 ③贈呈時期／毎年11月中旬頃を予定しております。 ※継続保有：割当基準日(9月末日)と、その6カ月前である同年の3月末日に、同一株主番号にて連続して株主名簿に記載された状態	